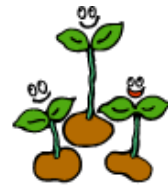


《まとめ知識》



ゴムのオゾン劣化

2007年8月

古くなった輪ゴムが簡単に切れてしまう現象は、誰もが見たことがあると思います。これは輪ゴムだけでなくすべてのゴムに起こる現象で、空気中に含まれるオゾンが原因です。

オゾンは、高圧電流の近くや日光の当たる場所で発生しやすく、そのような場所にゴムを置いておくと劣化が進んでしまいます。特に、屋外で使用される自動車や農機具などのゴム部品は、耐オゾン性の強いものを使用しないと危険ですし、美観も損なわれてしまいます。一言にゴムと言っても色々な性質のゴムがあり、それぞれの用途に適した材料を選定しなければならないのです。

弊社でも、選定された材料が適切な材料かどうかを検証するために、様々な検査機器を用いて材料検査を行っています。耐オゾン性を検査する場合は、『[オゾン試験機](#)』という機械を使用し、安全な製品が作れるよう努めています。



オゾン試験機

Copyright(c) 2006 OKAYAMA CO., LTD. All Right Reserved



〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目32番7号

TEL 03-5688-6700 / FAX 03-5688-6709 [E-MAIL okayama@kk-okayama.co.jp](mailto:okayama@kk-okayama.co.jp)